

日本鐵鋼協會記事

評議員會 大正十四年四月二十三日午後四時半より本會事務所に於て評議員會を開き次項に就て協議せり、當日出席者は河村驥、香村小録、鹽田泰介、今泉嘉一郎、島岡亮太郎、水谷叔彦、一色虎兒、川上義弘、島安次郎、桂辨三、原田鎮治、大塚榮吉、松浦善助氏等なり。

1. 萬國工業會議開催に付上申案に關する件 (案文別項の如し)。
2. 創立第十週年紀念大會開催に關し a. 名譽會員推薦の件 b. 製鐵功勞者表彰に付審査委員選任の件、同委員には河村、鹽田、川上、桂、水谷、渡邊三郎、井上匡四郎氏等選任せらる。c. 故製鐵功勞者の追悼會開催の件。d. 十年間會誌總目錄の編纂及配布の件。e. 紀念講演大會開催及講演印刷物配布の件。f. 懇親會開催の件。g. 東京附近工場見學の件。h. 大會に要する寄附金募集に關する件等
3. 其他會務に關する件、(以上可決)。

四月三十日講演會狀況 去四月三十日午後六時半より日本鑛業會々館に於て「X線分析法より見たる金屬の諸性質」に就て工學士柿沼字作君の講演ありたり講演目次次の如し。

1. X線分析法の由來及原理の概要
2. 壓延されたる銅及鐵の原子的構造
3. 延展性硬度及脆性等に關する原子的見解
4. 熱處理及機械的處理に就て
5. 原子的構造と原子力との關係等

本講演はX線分析法の原理より説き起し鐵鋼の如き主要金屬の原子の構造及此等金屬諸性質の原子的説明をなせり是に幾多の圖表、模型並に寫眞等を準備せられて其の解明に勉められたり。柿沼君は技術者にして特に科學的研究に興味を有し多年X線に關する研究に従事せられたるを以て本會々員にとりては非常に興味ある講演なりき。

終りに河村會長より謝禮の挨拶あり、次で河村會長、尾藤君、今泉博士、堀口君、村田君、山内君並に志村君より質疑應答あり、同九時散會、出席者合計六十餘名なり。

理事會 大正十四年五月六日午後四時半より本會事務所に於て理事會を開き次項に就て協議せり、當日出席者は河村驥、鹽田泰介氏等なり。

1. 入退會者に關する件。2. 紀念大會に關する件。3. 鑛山懇話會より譲受けたるテーブル代償の件。4. 書棚新調の件。5. 其他會務に關する件。(以上可決)

編輯會 大正十四年五月六日午後四時半より本會事務所に於て編輯會を開き會誌第十一年第六號の原稿を選定せり、當日出席者は川上義弘、田中清治、鹽澤正一、杉村伊兵衛、三島徳七氏等なり。

新入會者

陸軍科學研究所長、陸軍少將
丸の内南洋鑛業公司

正員 佐藤清勝
同 武藤貞雄

紹介者 河村驥、川上義弘
石原廣一、大矢喜兵

府下大島町	同	東京鑄帶工業株式會社	ク	行方畝三郎、大矢 喜兵
大阪市汽車製造株式會社、工學士	同	吉本源之助	ク	井口庄之助、齋藤 大吉
尼ヶ崎市金井トラペラー製造所長	同	金井慶二	ク	俵 國一、田中 清治
大阪工業試験所、工學士	同	大屋正吉	ク	同
東京帝國大學工學部冶金科學生	准員	湯川正夫	ク	田中 清治
同	同	氷上克之	ク	同
同	同	茂木 茂	ク	同
尼ヶ崎市金井トラペラー製造所	同	金井爲之助	ク	俵 國一
市外淀橋町柏木一―一六	同	矢野長次郎	ク	島岡亮太郎

本會正會員三菱鑛業株式會社常務取締役工學士松隈三郎君は大正十四年五月二十二日、又正會員松本正起君は大正十四年二月逝去せらる誠に哀悼の至りなり、謹で弔意を表す

萬國工業會議開催に關する上申案

凡そ國力の伸展と國富の増進が一國産業の發達に待つ所極めて大なるは論を待たざる所にして近時恒久の平和を要望する聲愈々高く軍備の縮小着々實現せらるゝの秋に際し工業の振興は國防の充實上亦喫緊の事に屬するものと被存候較近歐米の諸國に於て屢々國際工業會議を開催し特に國王又は王族の臨席を仰いで工學上に於ける知識の交換と斬新なる發明考案の紹介に努め切磋琢磨以て偏に工業の發展に資せんとするもの亦所以ありと思惟せられ候然るに我國は東亞の一隅に介在して現代文明の中心を離るゝこと遠く殊に東洋隨一の先進國として周圍の刺戟を受くること極めて少なし従つて轉もすれば世界の進運に後れんとする虞なき能はず此故に機を見て國內に科學的國際會議を開き廣く萬國の知識を收受するに努むると共に國民の覺醒を促すの要あるを感ずること既に久しきに亘り居り候ひしに這回此機運漸く熟し添付別紙の通り曩に我邦に來遊して親しく工業状態の視察を遂げ又我國情にも精通せる米國工業界の重鎮「スペリー」博士より加茂東京帝國大學授教（大正十三年倫敦に於ける第一回世界動力會議に本邦學會協會より派遣せし首席委員）に書を寄せ米國諸學會一致の意見として今後五ヶ年以内に我國に於て萬國工業會議開催のことを懇通し來り候こは我邦工業界の實力を廣く世界に紹介すると共に工業發展上極めて有效なる刺戟を興へ更に工業に關する學術的知識を交換する機會を作るのみならず有識者間に於ける意志の疏通を完ふし外交上に貢獻する所極めて大に延いて我邦貿易の進展に寄與する所亦尠なからざるものと被信候に付下名等は切に此舉の機宜に適したるものなるを認め實業家諸彦の贊助を得て遅くも大正十八年中に本會議を催すの覺悟を以て目下其準備に汲々たる次第に有之候乍併其經費は尠くも參拾萬圓を要する見込に有之單に民間工業家の融出のみを以て之を調達する事頗る困難ならんと被存候のみならず該會議の效果を最も完全に收むるが爲めには政府の御協賛を仰ぐ事極めて肝要と信ぜられ候に付何卒本會議が國家的の大事業にして其齋す所の福祉亦鮮少なからざるを認めて進んで其實現を督勵せらるゝと共に財政上に將又國際的交歡の上に十分の御援助を賜はらんこと切望の至に不堪候右謹んで上申仕候也

大正十四年四月二十七日

工學會 理事長
各學會協會々々 連 署

商 工 大 臣 宛

總會に於ける懇親會卓上演説 (前號、總會記事の續き)

○會長(河村藤君) 時刻が甚だ遅くなりまして甚だ不行届てありました事は何とも申譯がありませぬが、先例に依りまして是から何か皆さんの卓上の御演説を願ひたいと考へます。

先程ちよつと私は日本の工業家が團結して、外敵に對すると云ふ覺悟を以て日本の製鐵事業を振興するには協同一致しなければならぬと云ふことを申し上げましたが、今月の九日頃であつたと思ひますが、東京朝日新聞に極く俗なことではあるが、それに似通つたこと面白い話が出て居つた、それは服部と云ふ侍従武官が朝鮮の國境警備の慰問に行かれたのであります、其の歸つて來ての視察談として新聞に出て居つたのを見ると云ふと、非常に面白く感じたのは、朝鮮の國境に居る警察官や憲兵の家庭を見ると何れも非常に奇麗な立派な子供を持つて居る、どれを見ても皆縹緞の好い立派な子供ばかりである、その其理由としてこれは全く對外的に不安に襲はれて居る關係上外敵に對して所謂協同一致して居る、不純な考が少しも無いので、非常に夫婦間が圓滿となり所謂一體となつてゐる、さう云ふ譯で立派な子供が出來たのだらうといふ事でありましたが、矢張り鐵の立派なる成果を結ぶのも國內協力と云ふことより外に無いだらうと思ひます、ちよつと感じましたことを申し上げます、次はどうぞ今泉博士にお願ひ致します。

○今泉嘉一郎君 今日私共三時に招集を受けまして、唯今殆ど八時半であります、此長い間、殊に私は中飯も食はず参りまして、當り前ならばもう非常に疲れ切つてしまふのでありますが、今日は何だか知らず識らず實に面白く且有益に時間を費したのであります、併し考へて見ると是はプログラムの制定が少し悪かつたやうに思ふ、何しろ會長の御演説と云ふものは中々長かつたが堂々たるものであつた、會長としてはあの位の事を今日の時勢に言はなければならぬ、故に色々な御意見や御報告があるは當然である、其外總會の仕事も非常に多い、此等の會務をも執行すれば今日の總會は澤山である位な譯であるのに、そこへ持つて來て梅根君が非常に重大な問題を、而も専門學的に頗る精細に話された、是亦長時間を要するものは當然のことである、夫れを同日に、而も大會の事務報告會計報告さては役員選舉までやつたのですから、非常な仕事を今日はされた譯なのであります、願はくは今後的大會には多少考へられたい、會長が必要なる御意見の陳述を省略する譯にも行きませぬし、又講演者に向つて講演を省略するやう願ふのも本意でありませぬから、何とか今後は御考になるやうにしたいと思ふ。もう一つ遺憾なのは、今日は意外に來會者が少なかつた、是はどう云ふ譯であるか分りませぬけれども、講演者に對しては非常に遺憾であると思ふ。此機會に於て私は我が製鐵鋼業に對する世論に就て簡單なる意見を申したいのであります世間では我製鐵鋼業は目下氣息淹々只死を待つのみなど申しますが、私の見る所では此事業は今日の場合經營の困難は中々甚大であるに相違ありませんが其間に自ら多少の整理も出來つゝありまして大體に於て我國の製鐵鋼業は今日に於ても尙ほ進歩を辿りつゝあると思ふ、と云ふのは、昔我々が初めて事業の民間企畫を推奨した時分、即ち日露戰爭以前、或は其以後にも亘りましたが、實際に於ては世間で製鐵鋼事業を計畫する人の多くが難關とする所は第一に資本の集りにくいこと、第二に技術が困難であると云ふやうなことであつたのであります、然るに今日ではさう云ふものは餘り問題にならない、今日製鐵事業の企業に對して難關とさるることは餘程微細の點に移つて來て居る、即ち内國の生産費と外國の生産費と比較して優劣を研究するやうになつて來た其所て今日内國の生産費を外國の生産費と比較して見て我製鐵鋼業者が慨嘆するのは外國の同業者が有する各般の便利を我等が有せざる點である例へば第一に運賃が高いこと、第二に金利が高いこと、第三に石炭が高いことである、殊に銑鐵一噸に對し二噸、鋼材一噸に對しては三噸以上も使用さるゝ石炭の單價が外國の三倍にも相當すると云ふのは我製鐵鋼業者としては甚だ苦

痛のことである、然るに是等は全く事業自界の缺陷でなくて、他界の缺陷でありますから如何とも致し方がない、兎も角我々の難關とする對象が此の如く昔から變つて來て居る處に自ら我國の製鐵鋼業が進歩して來たことを立證し得るものであらうと思ふ、私共の關係して居る製鋼事業でも今日は一般と同様矢張り經營上に困難はして居りますけれども、其生産額とか云ふ風なものは毎年レコードを破つてゐる、從て生産費も毎年多少づゝ減つて行く、是は會長も申された通り今日の窮境に於ても幾分究か整理を遂げつゝあるためだらうと思ふ、併し事業他界の缺陷即ち還境の缺陷は何としても致し方はない其改良が出来る迄は是は國家としてどうしても保護政策に依て助けで行かなければ事業は振興しないのでありますから、保護關稅の運用なども斯う云ふ點に於て實施しなければならぬのであります、唯さう云ふ意見を私は今日持つて居るので、事業自界の缺陷に依て生じたる窮狀だけのことなれば其救濟とか云ふ風なことは敢て必要とは認めて居りませぬが、世間では救濟と云ふと事業の失敗を補填してやるとか或は何か事業の爲に唯恩惠を施すが如く誤解して居るやうであります私は斯の如き意味に於て救濟と云ふ文字を解釋して之に依て我國の製鐵鋼事業を侮辱するやうな議論をなすものがあるのは憤慨に堪えない、國家が是非興さなければならぬと云ふ重要産業の爲に其環境の缺陷を塞補する爲の救濟は是は國家當然の仕事である斯う云ふ風に考へて居つて、其意味に於ける救濟なり保護なりは必要であると考へるのであります。どうか御次は野田博士に御願致します。

○野田鶴雄君 突然の御指名で、何にも申上げることがありませぬが、先以て今日梅根學士の非常なる御精細なる御講話を伺ひまして多大なる利益を得ましたるを幾重にも御禮を申述べます。私は去る大正二年に初めて本溪湖へ参りまして、其前に上野に開かれました拓植博覽會でありましたか、本溪湖の鐵石を見まして、是非本統の山を見たいと思ひまして参つたのであります其時分にはまだ馬賊などが居つて、私が参りました時には、日本の兵隊六人ばかりに護衛して貰つて、廟兒溝の山に上つたのであります、其時に私はどうしても是はマグネティック・セパレーションをやらなければならぬと云ふ考を持ちまして……尤も其前に瑞典などに居りましてグレンダルなどの話も聽いたり、見たこともあります、私の目的は燐と硫黄を除去しやうと云ふ意味で、日本で兵器の材料を鐵石から、日本の勢力範圍内で造りたいと云ふのであります、其山を丁度日本の大會社たる大倉組が持つて居りますし、同會社も進んで之を行ふ事になりまして、出來ましたのが南坎の選鐵場及廣島縣大竹の製鐵所であります。預金部の低利資金二百萬圓も之が爲めに大倉組が借りたのでありまして、技術的には兎に角希望通りの兵器用純銑が出來たことは出來たのであります、先程梅根學士が御話になりました南坎の選鐵所のグレンダルといふのはそれでありまして、鞍山の大規模に比較すればそれはもうほんの玩具みたいなものであります。今回大量生産に滿洲のあの平野の鐵石を片つ端からトリートして日本の需要を充たさうと云ふ非常なる遠大なる御企に依つて御やりになると云ふことは實に國家の爲に慶賀すべきことだと今日は何とも言へない愉快な感じを以て御話を伺つたのであります、唯遺憾なことは時間が餘り十分でなかつたので、まだ伺ひたいと思ふことが色々あるのであります、何れそれは又特別に御目に掛るなり何なりして伺ひたいと思つて居ります、唯御指名に預りましたので、それを兼ねて私の責を塞ぎます。次は俵先生に願ひます。

○俵一君 私は先程今泉博士が今日の會合に時間がかゝり過ぎたと云ふことで、今後は注意したらと云ふやうな御言葉がありましたから、ちよつと今までの例を申します。

今日のプログラムの出來ますのも何時もの様にして出來ました、思ひ出しますると、一昨年でありましたか、野田博士と私が矢張り喋つて、大變遅くなりましたことがありました、それでどうも餘り遅くなつたと云ふ噂を聽きましたから、私は野田博士に向ひどうも君が餘り喋るからと申しました所が、野田博士のお答に俺よりも君の方が長く喋つたと云ふやうな話で共に笑ひ出した、今日ばかりではなく、兎角に時間は遅くなり勝であると云ふことを、

申しまして御笑ひ話にしたいと思ひます。

今日梅根學士の大變有益な御話で、是は申上げるまでもなく世界で初めてやつたと云ふことでありまして、今日詳細に御報告を戴いたのであります、試験の結果完全に御成功になりまして、進んで大資本を投じて今年或は來年より其仕事に取掛られると云ふことであります、日本の製鐵界に取り誠に大切なことであり、有益なことであらうと思ひます、是は獨り梅根君の光榮のみならず、日本の製鐵業者の光榮であると思ひます、是非御成功を祈る次第であります、事業の前途に於て墜跌なく進んで行くことを偏に祈るのであります、一寸、私の所感を申上げて置きます。次は島博士に願ひます。

○島安次郎君 今日の總會及び講演會は會長御自身の御發表と同時に、梅根君が又御苦心の末御成功になつたことに付て段々の御話を伺ふことが出来まして非常に有益でありましたが、特に私は先年來暫時滿鐵に奉職して居りました際に、梅根君の御研究の進行中に多少相談に預つた……と申しますか、それに關係したこともありましたが、其當時、梅根君も御話になりました通り、俵君、又齋藤君あたりも色々御心配になつたやうな點も伺ひました、それ等も幸にして懸念せられた如き困難に出會はるゝこともなく、寧ろ豫期以上の成績を得たと云ふことを伺ひまして非常に安心いたしましたと同時に、非常に愉快に感ずるのであります、そこで先刻今泉さんの御話に、本夕の御所感として、事業特に鐵鋼事業の發達に付て我國の運賃の高いこと、及び金利の高いことが非常に弊害をなして居るのであるが、此點を何とか解決しなければ、どうも思ふやうに發達を期して行くことが出来ないと言ふ御話がありました、私は製鐵事業の計算の内容を餘り詳しく存じませぬが、運賃の事に就きまして、私の存じて居ります限り此日本の製鐵材料原料の輸送は大部分水運に依つて居るのでありまして、私の關係いたして居りました、鐵道の方は割合に關係が少いのであります、それ故に鐵道の方の運賃關係は割合に其影響は少い、それを重なる目標として御話になつたのぢやないかと私は考へて居りますが、併し何分かの關係はある譯であります、併し御承知の通り鐵道の運賃と云ふことに就てどう申したら宜しうございませうか、鐵道を一つの私經濟と考へまして、其收支の關係を解剖して申しますると、製鋼製鐵業などと違ひまして、収入の約半は資本の金利に廻る、金利若くは配當に廻ります、結局鐵道の設備が安く出来るか否やと云ふことが、鐵道の運賃を高く取らなければならぬか、或は安く出来るかと云ふことに最も重大な關係がある、其點は餘程、製鐵事業紡績事業などと云ふやうな製造工業と鐵道事業との間に著しい相違があります、そこで鐵道の設備にどんなものが要するのかと申せば、それは色々のものが入るのであります、特に鐵材が多量に入ります、故に鐵材が安い高いか、是が鐵道建設費の多少に最も重大な關係を持つて居ります、又維持保存の費用に付きましては鐵材値段の多少が重大な關係を持つて居ります、それで鐵道運賃なるものは製鐵事業のみならず一般經濟上に重大の關係があります譯でありますので、循環論法を致す様ではありますけれども、鐵道運賃の低下を期するがためにはどうか鐵材を安く供給下されると云ふことに就いて此鐵鋼業に御關係の方の御盡力を特に御願いたしたいのであります、尙我國の製鐵事業に付きまして毎度彼是れ論議されます際には、どう云ふ譯ですか、造船關係及び軍事關係の方から言はれる場合が多いのであります、併し是は數量の上のみから見るべきものではありますまいし、又如何なる事業が重要であるかと云ふの議論は種々に建てられるから主觀的方面は夫は暫く別と致しますけれども、單に數量から申しますれば軍事及び造船よりも其以外即ち鐵道及び土木建築、其外農業關係等に要する鐵材の方が遙かに多量なのであります、我國でも米國若くは獨逸とはいくらか割合が違いますし又質の事は餘りやかましくはありませんが、量及び高い安いの關係に於て頗る重大の關係があります、即ち鐵鋼業が土木事業及び鐵道事業の上に於きまして非常に重大な、重要な影響を及ぼすものであると云ふことは今更申すまでもありませんが、どうぞ御含みの上で御盡力あらむことを御願いたしたいのであります。

一體此會には……私共の如き製鐵専門外の會員が相當に居りますが其内で機械の方に關係の人は大分居ります、造船の方も居られます、けれども土木建築の方は割合に少い、是はどう云ふ譯でありますか知れませぬけれども、どうぞ幹部の方に於かれまして土木及び建築方面の方も入會を折角御勧誘になりまして、それらの方面の方とも協力の上で日本の鐵鋼業の發達に御盡し下さることならば、今よりも尙ほ一層本會の目的を遂げられる上に於て御都合が宜しくはありますまいかと思はれるのであります、少し申過ぎましたかも知れませぬけれども、御指名でございましたからちよつと……

○香村小録君 私は大して御話申すやうなことも無いのでございますが、珍しい石原さんが御出でになつて居りますから、南洋の御話でも承りたいと思つて居ります、私は梅根さんの御演説に付て感じましたことを一寸申し上げます、私は滿洲に於て大きな製鐵所が出来ると云ふことは梅根君の御話の通り我國の鐵自給と云ふことに對して重大な關係があるので、誠に結構なことと思ふのでございますが、そこで大變羨ましいと思ひましたことは、先刻の御話の内に千百萬圓も掛ける、千百萬圓も掛けて、さうして其結果は先づ當分の所、殆ど利益が上がらない、運賃其他の關係を考慮しても先づ一杯々々に行く位なものだと云ふ様な御話でございましたが、それを拜聽して大に羨しく感じましたのであります、自分達ももう少し金があつて、千百萬圓の半分なり幾割なりを掛けたならば、相當に効果のある仕事が出来ると考へますので、滿鐵の經濟の大なるのに驚歎した次第であります。

○石原廣一郎君 私は此會に出ましたのは今回が初めてでございます、絶えず南洋の方に居りますものですから、丁度幸ひ三四日前にこちらへ歸つて参りまして、今日こゝに此會があると云ふことを承りまして、早速出席したやうな譯であります。

私は大正十年から馬來半島で鐵鑛の探掘を致しまして、丁度今年でざつと百萬噸の鐵石を八幡製鐵所に御納め致しました、今後引續き相當日本に供給を致すことが出来る考であります、南洋は割合に鐵鑛がかなりございます、殊に馬來半島には品質の良い鐵石があちらこちらに散在して居ります、幸にして馬來半島の重なる鐵山は最近私の手に殆ど這入りまして、相當長い期間之を日本に供給することが出来るだらうと思ひます、併し馬來半島のみならず、セレベス及びホルネオ等にもかなり鐵鑛がございます、昨年震災の前後でございましたか、和蘭人と英吉利人とに依つてホルネオに製鐵所を建設せんとする計畫がありまして、丁度昨年震災中和蘭の國民議會を通過して、ホルネオのスンゲドアの鐵石とセレベスの鐵石とに依つてプロラウトへ建設しやうと云ふ議が纏つた、ところが英蘭の當事者間の錯雜せる事情からして、和蘭政府はそれ等に與へた特權を取消ししやうと云ふことに大體決議したやうな譯であります、而して彼等の計畫した方面にはホルネオでは、一億數千萬噸の鐵鑛がありません、それからセホックには7,8千萬噸セレベスには一億7,8千萬噸の鐵石があります、是等の品質は餘り良くありませぬが、55%位の者であります、其上に南洋諸島にはかなり石炭があります、石炭は現在私の知つて居る範圍に於きましては日本の九州北海道に埋藏する炭量よりホルネオ、スマトラには多いのであります、近い將來にはあれ等の石炭と云ふものは日本の市場を脅す時代が來はせぬかと云ふことを心配して居ります、尙是等の石炭の中でコークスになる良い石炭がありますから、或時期には是等の土地に於ける製鐵事業と云ふことも場合に依つては問題になりはしないかと云ふことを考へて居ります、殊に日本に近いのでありますから、日本人は餘程鐵と關聯して南洋の蘭領並に英領は見捨ててはならぬ、大いに將來皆さんが之を注意して戴きたいと云ふことを自分は切に感じて居るのでありますから、一言ちよつと申し上げます。

○會長(河村藤君) 今夕は色々な御意見を伺ひまして、非常に益する所があつたと考へます、尙ほ色々皆さんの御話を承りたいと考へますが、時間も経ちましたのでありますから、又他の機會に譲ることに致しまして、ちよつと

唯今の御話に付きましての所感を最後に申したいと存じます、丁度島さんが御歸りになりまして、甚だ残念であります、併しまだ鐵道關係の秋山氏も御出でになります、甚だ御迷惑でございますが、少し鐵道關係のことを申述べたいと思ひます。

色々今度の調査會でも運賃のことに付ては詳しい御調が出来て居りますやうでありまして、私はまだ拜見いたしませぬが、かなり此鐵道運賃の製鐵業に對する影響は重大なもののやうに伺つて居ります、私自身と致しましては假定を設けまして、或は輪西で俱知安の鑛石夕張石炭を鐵道で運ぶとか、釜石に對しても北海道の石炭を鐵道で港に出してそれから船で運んで居るとか、鞍山では製品を製鐵所から大連に運ぶと云ふやうな箇々の製鐵所の鐵道運賃を考へまして、すつかり日本の總平均を取つて見ました所が、噸哩一様に一錢二厘の運賃に輕減せらるゝものと見て鋼一噸に對して……私の假定の下に5圓以上の差が出て參つたのであります、是は製鐵業に對してはかなり重大なことと考へます、尙ほ鐵の材料が安く出來ると云ふことを鐵道には希望すると云ふことで、是は何事業に限らず鐵を使ふ上には勿論さうであります、假に鐵道の經費が1哩20萬圓掛かると致しまして、60封度レールは1哩凡そ百噸と見て此1哩百噸が關稅の引上の爲め1噸10圓高くなつたと考へましても百噸に對しては僅か千圓でありまして、是は20萬圓に對しては僅なものであると思ひます、それから造船事業に致しましても、1萬噸の船を造るのに4千噸の鐵が入るとして1噸10圓高くなつたとしても僅に4萬圓であります、今日の相場が優秀船1噸4百萬圓と考へまして、4百萬圓に對する4萬圓又建築方面では丸ビルが4千噸の鐵材を使つた1噸10圓高くなるとして4萬圓で總工費1千萬圓に對すると是亦尙々たるものであります、其外水道鐵管の如き殆ど鑄物ばかりで出來たものを考へまして關稅引上の結果銑鐵1噸5圓高くなつたとして其影響は5%其外の總て機械では、精巧なものになればなる程……或はスチーム・タービンを拵へる、水車を拵へるとかさう云ふ風な精巧なものになると、僅に〇・何パーセントと云ふやうな極めて輕微なものでありまして、而も是もいつまでも斯う云ふ御迷惑を製鐵業者は需要者に掛けやうとは考へない、兎に角我國製鐵事業が相當に目鼻が付いて、所謂整理時代を経て、十分に設備も改良が出來、確たる製鐵事業が樹立すると云ふ間の其期間は國民が總て一時の苦痛を忍び、犠牲を拂ふと云ふことを御諒承下されることが製鐵業者の望でありまして、決して永久に苦痛を與へやうと云ふのではない、又それでは日本の製鐵事業を發展させ、それを改良する効果は無いのであります、外國に對抗して國內の自給を計るのみならず、少くとも東洋方面に於ては日本から輸出すると云ふやうにならなければ、日本の製鐵事業の自給と云ふことも本統のことは出來ないと考へるのでありまして、此點は少し今の島さんの御話に對しまして辯解を致さなければならぬと考へるのであります。

尙ほ梅根氏の今日の御講演に付きまして、私は國策の樹立上最も參考になり且つ重大なる關係を持つ御講演であると先程申しましたが、今日の鐵鋼の130萬噸或は140萬噸を供給するのならば、先程も石原さんから御話がありましたやうに、南洋であるとか、或は支那であるとか、リツチ・オーを持つて來まして、相當に日本でやつて行けると云ふ考は無論持つて居りますが、尙ほ是から十分探鑛をして研究を致しましたならば、無論確實になつて來ることと考へますが、今日の我々が持つて居る知識では、今日の熔鑛爐、百噸以上のものを働かして130萬噸造る、それ以上は、支那や南洋の鑛石を確實なるものとして當てにすることは私は不可能だらうと考へる、さうすれば今後日本で年々増して來る需要に對してはどうするか……今までは鐵鋼に對しては十年毎に二倍になると云ふ統計になつて居ります、又さう云ふ御意見の方が澤山ありましたが、私は今後十年間に二倍になると云ふことは考へませぬ、殊に今日の有様の日本では二倍にはならないと殆ど斷言しても宜からうと思ふ、既に第二の軍縮會議も開かれむとして居る、海軍方面の需要は餘り増加しない、一昨年の震災の爲に非常な打撃を受けた日本、非常に經濟

的苦境にある今日商船も優秀船を造らうとしてもなかなか經濟の状態が許さない、鐵道も所謂改主建従の政策を執らなければならぬと云ふやうな状態であり建築はやらうと思つても中々出来ない、水道の擴張も容易に出来ない、今後何年間か斯う云ふ不況時代整理時代が続くものと致しますと、今の經濟状態から申しましたら……私は鐵の需用は經濟状態にも依るだらうと思ひます、今までの歴史とか從來の統計に依つて必ず今後の需要が極まるのではなくして、經濟状態の影響が好いか悪いか、それに依つて物資の需要と云ふものは起るのでありますから、私は今日の經濟状態から想像したならば先づ今後十年間に五割の増加をするものと見たらば大差は無い、それが先づマキナムだらうと考へる、併しさう致しましても今日の需要から見まして五割増すと云ふことになりますと、それを我國で自給するには熔鐵爐では多少の餘裕を見まして……フルキヤバシティーでは働けるものではありません、二割内外の餘裕を見て、百萬噸乃至 120 萬噸丈熔鐵爐を増さなければならぬと考へます、其時に當つてどうすれば宜いか、支那の鐵石、南洋の鐵石が確に當てにすることが出来ませぬでしたらば、矢張り滿鐵の百萬噸の計畫を實現させる外はない、又第二の策としては、製鐵地として内地では北九州方面が地の利を得て居ると信ぜられて居る、私もそう信じて居りますが、それに對しては支那や南洋の鐵石の外に朝鮮の北境にある茂山とか、端川とか、さう云ふ鐵石を選鑛して持つて來る、それでどうにか斯うにかして此解決が出来ると考へますが其解決をするのに先決問題は鞍山の製鐵所の今の貧鐵處理が技術上のみならず經濟上充分に確實なる効果を現す事が必要である、詰り鞍山の貧鐵の處理の成功否やは單に鞍山製鐵所の死命を制するのみならず、日本の將來の製鐵業の死命を制する大問題であると、斯う考へるのでありまして、滿鐵の、梅根さん初め當局の方に對しましては一層御盡力御自重御耐忍に依つて此結果を收められむことを希望いたします、尙ほ我々の小さな經驗に鑑みましても、僅な事を致しましても故障は起り勝てあります、現に京濱間の電車鐵道に於ても、初は故障が起つて、局長までも辭職しなければならぬ場合もあつたが、今日では立派に運轉して居る、さう云ふやうな工合に最初に於ては多少の故障と云ふものは付物である、是は滿鐵の當局の、幹部の方の所謂耐忍自重を俟たなければならませぬし、又世間も日本の製鐵事業の死命を制する程の大問題であると云ふことを念頭に置いて十分の好意を表し、十分の同情を以つて後援すると云ふことが必要であると信ずるのでございます。

甚だ長々しく述べまして相済みませぬが、一言最後の所感を申述べ之にて、散會致す事に致します。(時に午後九時二十分)

本邦學術的業績紹介計畫

今回帝國學士院より次の紹介狀到着せり。

拜啓本邦に於ける學術的業績を普く且つ速に世の學界に紹介することの必要なるに鑑み今般本院に於て別紙趣意書の計畫を立て近々之か實行に着手致度考に有之候而して我學界の各方面か右計畫に賛同し之を利用せらるゝと否とは之か効果を擧ぐる上に大關係ある次第にも有之候へは何卒御配慮に依り廣く我學界の賛同協力を得度此段御依頼迄得貴意候 敬 具

大正十四年五月九日

帝國學士院長男爵穗積陳重

日本鐵鋼協會々長 河 村 曉殿

本邦に於ける學術的業績を普く且速に世の學界に紹介する計畫趣意書 本邦に於ける各學會の機關雜誌其の他に依りて世に發表せらるゝ研究の成績にして學術の發達に寄與し人知の増進に貢獻するに足るもの決して少しとせず然るに是等は邦語を以て記述したるもの多きを占むる爲普く歐米の學界に紹介せられざるの憾甚多し斯の如きは知的協力の精神より觀て大に遺憾とする所なるのみならず發見若くは發明に關する優先權を保障する

上より考ふるも亦甚だ不利益なるを免れず而して他方各大學の紀要學術研究會議の輯報等は歐文出版物なれば我邦に於ける研究を歐米の學界に紹介するに適當なる機關たるに相違なきも經費其の他の關係上是等の機關に依りて世に發表せらるゝ學術的業績は其の數に於て著しく制限せらるゝのみならず其の發表に於ても往々にして遅延を免れず爲に前述遺憾不利益とする點を補ふに足らざるは我學界の切實に感ずる所なりと信ず。本院は我學界に於ける右缺陷を補はんか爲に今般一の計畫を立て近々之か實行に着手致度考にして其の主眼とする所は重要なる研究成績の概要を普く且つ速に世の學界に紹介するにあり我學界の諸士か此の計畫に賛同して之を利用せられんことを切望する次第なり同計畫の要點左の如し。

一、英、佛、獨語の中一（成るべくは英語）を以て綴りたる研究成績の概要報告又は豫備報告を隨時本院に提出すること但し提出者が本院會員に非ざる場合には本院會員の紹介を経ること。

法科、文科、經濟科等の人文諸學科に關する報告は場合に依り邦文原稿にて提出することを得ること。

一、研究成績の詳細を別に演說著述等として發表するは當事者の自由なること。

一、本院に提出する歐文報告は約1千語以内のものにして文意明確文字明瞭なるものたること。

邦文原稿は約2千字以内のものにして術語には歐譯を添ふること。

一、歐文報告は本院出版委員の銓衡を経て本院刊行の Proceedings of the Imperial Academy に登載し廣く之を内外の大學圖書館研究所學會等に寄贈す。

一、前項の刊行物は八、九兩月を除き毎月一回以上之を發行し毎回の頁數約25頁の豫定なり。

銀婚式捧呈賀表

（口繪参照）

大正十四年五月十日兩陛下銀婚式御舉行に就き本會は他の十二學會と聯合し次の賀表を捧呈せり

大正十四年五月十日銀婚式御盛典御舉行につき工學會は去る四月十七日開催の臨時評議員會の決議に基き東京帝國大學史料編纂掛尾順敬氏の起草、三上文學博士の校閲を経たる賀表を同大學本部所屬の能書家に囑して所定賀表用紙（竪壹尺貳寸、横壹尺六寸、烏ノ子、銀蒔キツプシ）に淨書をなし所定桐箱に納め献上臺に載せ、御盛典當日午後古市工學會理事長之を捧持し宮内省官房庶務課に至りて捧呈の手續を無事終了せり賀表本文左の如し。

工學會理事長男爵臣古市公威誠恐誠惶謹ミテ白ス恭シク惟ルニ

天皇陛下

皇后陛下乾坤德ヲ合シ龍靈祥ヲ定メ聖化八紘ニ遍ク慈澤四裔ニ敷ク正ニ今日ノ吉辰ヲ以テ大婚二十五年盛典ヲ舉ケサセ給フ億兆ノ臣民誠歡誠喜歛然トシテ慶賀セサル者ナシ今ヤ皇儲英邁大政ヲ攝シ諸王賢明文武ノ業ヲ修メ先帝ノ鴻猷日ニ就リ月ニ將ミ國光大ニ輝キテ萬國平和ノ大勢ヲ制スルニ至ル皇室ノ隆昌振古未タ聞カサル所ナリ工學會ハ日本鐵業會日本鐵鋼協會土木學會火兵學會煖房冷蔵協會造船協會建築學會工業化學會電氣學會電信電話學會機械學會照明學會ノ十二會ヲ以テ成リ常ニ帝國ノ文化ヲ輔ケ聖恩ノ萬一ニ報センコトヲ期セリ今此盛事ニ逢ヒ歡并欣喜ノ至ニ堪ヘス恭シク賀表ヲ奉リ寶祚ノ無窮ヲ祝ス臣公威誠恐誠惶謹ミテ白ス

大正十四年五月十日

工學會理事長從三位勳一等男爵臣古市公威